



2023年初日の出 1月1日撮影

柏床よしおの



よっしー 通信

2023年1月 9号

発行 柏床由夫後援会

神石高原町油木乙23番地2 Tel (0847-82-2022)

<http://ww4.tiki.ne.jp/~kashiwatoko/>

Email kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp

【12月定例会】

12月定例会は、12月7日から14日まで開かれ、一般会計ほか5特別会計と病院事業会計の補正予算や、条例改正など46議案が原案どおり可決。一般質問は7人の議員が行いました。

一般会計補正額 6億1071万円

出産育児伴走型支援事業

燃料価格高騰対策支援事業

普通財産管理経費など

2022年度 令和4年度) 一般会計補正予算の主な事業は次のとおりです。

● 出産育児伴走型支援事業

物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策。

「出産応援ギフト」

- ① 妊娠届出後 妊婦1人当たり5万円 子育て応援ギフト)
- ② 出生届出後 子ども1人当たり5万円 遡及対象者)

③ 事業開始前出産 10万円 (一括支給)

④ 事業開始後に妊娠期間 5万円支給

今年度は、すべて現金支給
問い合わせ 子育て応援課)
89-3368

● 燃料価格高騰対策 支援事業

原油価格高騰により影響を受けている町内事業者の経営支援。

「対象事業者」

町内に事業所を有する法人、商工業者、認定農業者、認定新規就農者、青色申告農業経営者

「補助内容」

事業用として購入されたガソリン、重油、軽油、灯油、ガス、電気の購入経費期間内で5万円以上)の20%を支援
補助上限額)

法人50万円、個人事業者20万円

「対象期間」

令和4年4月1日から
令和4年12月31日

問い合わせ 産業課)

89-3337

● 普通財産管理経費

老朽化した旧三和民俗資料館 (旧井関小学校) を解体し、跡地の有効活用を図るもの。

昭和30年度建築。

(築後67年)

予算額、2175万円。

新しい年を迎えて

日頃からのご支援にお礼を申し上げます。昨年からの物価が高騰し、今年も、身近な食料品の値上げが予定されています。また、町内の新型コロナウイルス感染症もなかなか収まらない状況です。

引き続き感染対策をしながら日常生活を送りましょう。

住民視線での活動を
を取り組んでまいりますので、引き続き
よろしくお願ひします。

柏床 由夫



旧三和民俗資料館 (旧井関小学校)



柏床議員の一般質問

農業振興について

問 農用地の荒廃状況と町の基本的対処方針は。

答 全体的な取組みの中で、農地の荒廃拡大の抑制が図れると考える。

柏床 近年、農家の高齢化や離農により農用地の荒廃が年とともに進行する状況にあるが、平成28年からの農業委員会が荒廃地と認定した農用地の状況は。

町長 農業委員会で認定した、平成28年度以降における田、畑の荒廃地面積は、

田が約214ha、畑が約224haで、多くが長期間にわたり作付が無く、既に山林化したものとなっている。

柏床 特に畑地の荒廃が進んでいると見受けられるが、町の基本的対処方針・営農方針の考え方は。

町長 畑地の荒廃対策に対する基本的な考え方は、農地も個人の財産でありますので、できるだけ農地所有者や耕作者において管理していただくものと考えており、中山間地域等直接支払事業等の活用により、地域内においても農地保全の活動をお願いしたいと考えている。

一定程度の面積と条件のよい農地等で、活用希望のある畑地については、農地中間管理事業を活用するなど、引き続き担い手や農業参入企業等への集積を進める。

また、トマトやぶどうを中心に新規就農者や既存の担い手の経営ほ場として活

用できる荒廃地については基盤整備を行うなど、就農予定地等として活用していく。

農業後継者や新規就農者等の新たな農業経営者の育成確保、農業経営支援、有害鳥獣対策等の全体的な取り組みの中で、農地の荒廃拡大の抑制が図られるものと考えている。

柏床 特農業委員会が荒廃地を非農地と認定し、土地所有者に非農地通知を送付する。通知書を持って、土地所有者が法務局に地目変更の申請をするが、現実には地目変更登記がなかなか進んでいないと聞くが現状は。

産業課長 特農業委員会が非農地と判断した農地については、農地所有者に非農地通知を送付しています。この通知書をもって法務局で地目変更登記をしていただく様をお願いしている。

しかし、なかなか進まず、非農地通知を送っても、地目変更出来ずに農地として町に登録が続く状況にあ

る。この対応について現在、法務局と住民課と協議中で、職権で地目変更が出来ないか議論を進めている。

町長 職権で登記修正を申し出る事が出来るということで、法律上不可能ではないということ、これがもし事務的に進める様な事が出来れば、農地所有者の地目変更登記の負担が減る。

農業委員会が認定した非農地の地目変更登記が順調に進むのではないかと考えている。この協議を出来るだけ早く済ませて、この様な取り扱いが出来る様、今後もし引き続き協議を進めていく。

柏床 農地中間管理事業の実績は。

産業課長 令和4年3月末の実績で、農地1212筆、面積は、154.6ヘクタールが農地中間管理機構に預託されている。

内数として、畑12.9ヘクタール、すべて担い手に集積されている。

農業振興ビジョンについて

柏床 農業振興ビジョンの策定状況は。

町長 農業振興ビジョンは、第1期計画を踏襲し、令和4年度から令和8年度までの5年間で第2期として策定し、引き続き「赤」と「黒」である「ま」と「ぶどう」、「和牛」の産地振興を中心に位置づけ、それぞれの生産拡大に向けた各種施策を推進している。

荒廃農地に対する取り組みは、ビジョンの中で特に詳しく記載しておりませんが、担い手を中心に、農地



作付けがされない農地

中間管理事業を活用しながら、更なる集積に努めている。

また、地域においては、中山間地域等直接支払や多面的機能支払等の農地荒廃対策事業に取り組んで頂いている。町としては、基本的な考えとして地域の話し合いと既存の対策事業、補助事業等を活用しながら、荒廃農地の拡大防止を図っていくこととしている。

人材交流サイトについて

柏床Ⅱ人材交流サイトの運用は。

町長Ⅱ人材交流サイトにつきましては、昨年度の農業振興協議会からの提言案件として、本年度ホームページ上に人材サイトを整備する予定。

人材交流サイト自体は既に完成しておりますが、その運用について要綱、も含めた最終的な調整をしておく。

また、サイトへ掲載して

いただくために、担い手を中心に農業経営者の、方々に趣旨説明を兼ねた掲載依頼をする予定であり、本年度、準備が出来次第、ホームページへ掲載する予定で進めている。

町営バス4月から

1乗車500円に値上げ

柏床Ⅱ町営バスの運賃改正の予定は。

町長Ⅱ町営バスにつきましては、現在、神石油木線、油木豊松線の2路線を運行しておりますが、ここ数年、利用者数の減少に伴い収益率の低下が続いており、県補助金が受けられず、町の財政負担が増加している。

町といたしましては、こうした状況を踏まえ、令和5年4月1日から、利用料金を、現行、1乗車300円から500円に改正を予定している。本改正については、先月11月24日に開催した地域公共交通協議会においてご審議いただき、承認を

いただきましたので、本定例会に条例改正を上程することとしている。

柏床Ⅱ町営バスの大半は高校生が通学に使用している。定期代が年間、8月を除く11カ月で計算した場合、63300円の保護者の負担増となるが、通学支援の考えはあるのか。

町長Ⅱ値上げもやむを得ないと考えております。高校生の通学利用については、来年度は、実質据置を予定している。

その先は負担方法も含めて検討したいと考えています。



町営バス 油木豊松線

ふれあいタクシーについて

柏床Ⅱふれあいタクシー利用者から利用料の値下げ要望があるが町の考え方は。

町長Ⅱ令和2年5月に利用料金の見直しを行った。利用状況については、コロナ禍と重なったこともあり、改正前の令和元年度と比較し、ここ2年は約2〜3割減少している。

また、令和5年に、県内のタクシー運賃の引き上げが行われる情報もあり、今後の動向を注視しているところである。

こうした現状を踏まえ、料金の見直しについては行わず、当面は現状を維持したいと考えている。

柏床Ⅱ過去2年の年間利用件数は約21000件、600円に引き下げた場合、年間約630万円程の財源持ち出しが必要だが、令和3年度一般会計決算では、約7億8千万円の不用額からすると、0.8%である。検討の余地はあるのか。

町長Ⅱ利用者の方は安くこしたことはないが、一律給付、一律減額についてその中にも幅がある。例えば、課税世帯・非課税世帯の区分分けの話も出たが、事務的に煩雑、乗務員に迷惑がかかるなど課題があるが、今後、マイナンバーカードを活用した、新しい技術を使って事務軽減、差をつける事も可能であろうから、今後検討したい。

買い物支援について

柏床Ⅱ買い物支援について町の基本的考え方は。

町長Ⅱ定規模のスーパーマーケットなど、出店の可能性について、福山市内で事業展開をされている事業者の方とも話をしたが、本町への出店については商圏の問題等で難しい状況である。基本的には町内で購入される方は、地元商店での買い物その他、移動販売や宅配

次ページへつづく

【つぎ】

サービズを利用されておられるのが現状です。包括協定を結ぶ事業者との連携や地域での取り組みなど、買い物支援についてどうあるべきか考えていきたい。

遊休財産の活用について

柏床Ⅱ油木地区新岡の町有地の活用方針は。

町長Ⅱ油木地区新岡町有地の活用方針ですが、町営住宅の上側に空き地があります。この空き地の利用を現在も検討している。

近年の住宅事情を見ますと、建築価格の高騰や空き家・空き地の増加が顕著である。

このような情勢から、当該用地については、現段階で費用をかけ整備することにより目的が達成されるかが未知数ですので、もう少し情勢を見極めたい。

町議会の動き

議会運営委員、各常任委員の2年間の任期が満了し、12月8日から次の体制とりました。

議会運営委員会

委員長 小川 清治
副委員長 久保田龍泉
委員 藤田 晃己
木野山孝志
横山 素子

総務文教常任委員会

委員長 横山 素子
副委員長 藤田 晃己
委員 橋本 輝久
木野山孝志
林 憲志

産業建設委員会

委員長 久保田龍泉
副委員長 柏床 由夫
委員 寄定 秀幸
小川 清治
小川 善久

議会広報委員会

委員長 小川 善久
副委員長 柏床 由夫
委員 橋本 輝久
寄定 秀幸
久保田龍泉

広島県水道広域連合

企業団議会

選出議員 寄定 秀幸

地域の話題

油木軽トラ掘り出し朝市

11月19日(土)に、閉館した油木百彩館の敷地で、油木協働支援センター・わくわく農業チャレンジチームが主体となり「油木軽トラ掘り出し朝市」が開催され、構成員として、お米、里芋、ジャガイモなどを出品、参加させていただきました。久しぶりに、地域の賑わいを感じました。



軽トラ掘り出し朝市の様子

細田営農組合

年末餅つき

細田営農組合では、昨年12月30日に恒例の餅つきを行いました。

7世帯14人で、16臼の餅つき、過去には30臼以上の餅つきをしたこともあります。特に豆餅はそれぞれの家庭の味があって、黒豆、ピーナツや砂糖・塩など調合は様々。高齢化が進む集落にとって家庭の味が何とか守られています。

今年は、地元の出身の娘さんなど、2人の助っ人が参加してくれました。助かりました。



助っ人参上

12月議会を終えて

12月定例会で議員に初当選から2年を迎え4年任期の折り返しとなりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除されましたが、収束はいまだに見えませんが、

加えて、昨年からの物価高となり家計を圧迫しています。この1月から3月まで7152品目が値上げ予定、帝国データバンク調査)2月には4277品目の値上げ予定の内、加工食品4000品目が平均19%の値上げ予定で益々家計の負担が大きくなる状況にあります。

支出が増える分、収入も増えて欲しいですね。

※気になる

年金、支給額は上がる？
今春闘の賃上げは？